



KIFA Plaza かわら版

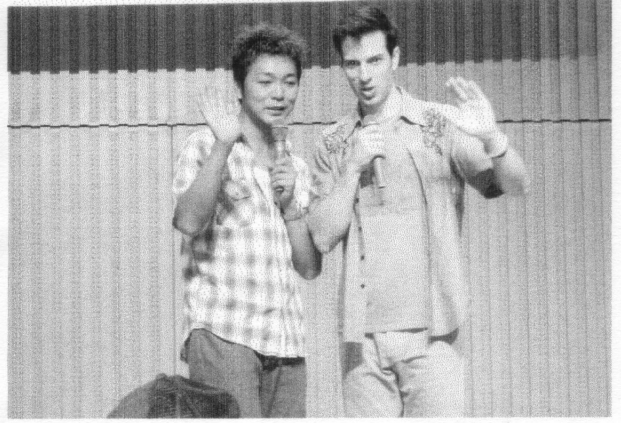
発行日：2005年10月7日
かわら版 No. 5号
発行：鎌ケ谷市国際交流協会
〒273-0195 鎌ケ谷市初富928-744
TEL 047-445-1141 (内線550)
FAX 047-441-9400

笑いと熱気の「英語教室」

KIFA主催のトークショー
バックン・マックン「鎌ケ谷でシャベラナイト！」



フレッシュボランティアの学生たちと記念写真



ポーズをとる二人（左：マックン 右：バックン）

「He is my mother」……えっ、おかあさんは男性？ いや、She の間違いじゃないか。そこでバックンは「彼はワガママ」と、駄じゃれでそのココロをタネ明かしをする。アメリカ人の視点から、英語と日本語の微妙な違いを実例つきで、愉快地語ってもらう。異文化交流は、ここを留意すれば実践的で役立つ……そんなトークショーが、9月4日、KIFA主催で実現した。題してバックン・マックン「鎌ケ谷でシャベラナイト」……。

会場の東部学習センター・レインボーホールには、開演に先立ち、KIFAボランティアとともに中・高校生12人のOne Dayフレッシュ・ボランティアが会場準備に当たっている。今夏、姉妹都市のニュージーランド・ワカタネ市でロングスティを体験した高校生らと応募ボランティアだ。「若い力の導入」（岡本靖子会長）の第一歩である。

午後2時15分、颯爽と登場した日米お笑いコンビの2人。応募抽選に当たった定員いっぱいの聴衆180人から、盛大な拍手。アメリカ人のバックンはNHK番組「英語でしゃべらナイト」でおなじみだ。

2人はショートコントでまず笑いを誘い、観客飛び入りの即席英会話教室を開き、雰囲気盛り上げる。

続いて、バックンの英語のヒントから、英語のワードを答える「バックン英検」。会場から中・高校生、中年サラリーマン、主婦など5人が舞台上がる。観客全員が真剣に耳を傾け、正解を考えている。

「ここが変だよ和製英語」コーナーでは、「なるほど、そうなんだ」とうなづける話しが展開される。例えば……。

- ①「アウトドアライフ」は英訳では、ホームレスの意味。正しくは「アウトドアレクリエーション」。
- ②「アパート」は別々の意味、建物は「アパートメント」と言うべき。
- ③「グローブ」は地球儀。野球道具は「グラブ」と発音する、などである。

笑いと熱気に包まれた90分のトークショーは、またたく間に経過した。

バックンは12年前の来日当時の個人的体験を踏まえて、舞台からこうアドバイスしてくれた。

「日本人は一般的に引っ込み思案。それと、他人を見て右へならえ、しがちです。こっちが何を言っても、ハローとイエスしか答えが返ってこないことがありますね。身ぶり手ぶりを交えてでも、大胆に英語を使ってしゃべって欲しい」
(K. H)



観客とジャンケンで性格判断のお遊び



絶妙なコンビ



若者から質問を受ける

若い芽の海外体験に大きな成果

青少年ワカタネロングステイ派遣報告会 参加学生ら充実の「ひと夏の経験」話す

KIFA（鎌ヶ谷市国際交流協会）が主催、鎌ヶ谷市教育委員会が後援する青少年ワカタネロングステイ「派遣報告会」が8月28日（日）、中央公民館で行われた（派遣日程・7月28日～8月23日の27日間）。学生たちは「見聞を今後に生かしたい」「他国との違いをもっと知りたい」「日本の良さも悪い面も分かった」とそれぞれのステイ体験を話した。

「行く前の不安そうな表情に比べ、帰ってきた顔を見ると、充実したいい体験をしてきたことが分かる」とKIFA・岡本靖子会長が開会あいさつ。清水聖士市長が「沢山のことを学んできたと思う。これからの進路にも生かしてください。ニュージーランドとの友好にも役立つものになるだろう」と今後の活動に期待する、とのあいさつを送った。

報告会には9人の派遣学生のうち7人（都合で2人欠席、1人はレポートを提出）が出席し、清水市長、井上和夫教育長、三橋一郎市議会議員、で派遣学生の父母ら、多くの関係者が見守るなか行われた。

佐藤和彩さん（大1）＝滞在中リーダー的役割を勤めたお姉さん。

自然と星空の美しさに感動、はだしで歩く、学校へは車で行く、15歳で免許が取れるなど、カルチャーショックの日々を、英語でスピーチ。「ニュージーランドありがとう」最後の日を思い出し涙ぐむ場面も。



松山寿美さん（高3）＝ワカタネには「校則」はなかった。

ワカタネ高校にはフランス、アメリカ、カナダなどの子が通っていた。女の子はみなおしゃれで、大きなピアスにネックレスも。髪の色もいろいろだった。ここではみな違うのが当たり前なのと思った。



植松小百合さん（高1）＝英語をしっかりと身につけた。

ワカタネ市は自然が豊かなところでした。授業はとても自由でした。ホストファミリーは親切にしてくれました。夕食はみな一緒に食べます。お父さんも料理作りを手伝います。お片付けは子どもたちがやります



斎藤 維さん（高2）＝他国との違いをもっと知りたい。

ホストファミリーと仲良くなれて、とてもうれしかった。人との触れ合いがこんなに楽しいものということが分かった。日本の手遊びなど紹介して、家族みたいになれてうれしかった。また行きたい。



佐藤翔太郎くん（高2）＝英語の能力が上がったか分かりません。

ニュージーランドで思い出ができました。それはホストファミリーのおかげです。緊張している僕にゲームを借りてくれたり、プールに行った次の日に発熱、すごく心配してくれて、病院に連れて行ってくれました。



和田誠也くん（高2）＝牛がいたり湖がありとても自然が豊かでした。

湖には鳥も住んでいて餌をやっている。学校では生徒たちはとても話しやすい人ばかりで、すぐに仲良くなれた。英語も少しは上達した気がする。マウリという民族の歴史にもふれられ、とても面白かったです。



桶本 和くん（高1）＝不安がウソのように消えた。

行く前はとても不安だった。英語は話せないし、ホストファミリーが意地悪だったら、食べ物が合わなかったらなど。しかし3日も経ったらそんな不安は消えてしまった。残り1週間になって「あと半年くらい居ても大丈夫かもしれない」と思った。



小澤 翼くん（高1）はレポートを郵送してくれた。

ニュージーランドの人はよくパイを食べる。コンビニでも熱々のパイを売っている。家庭でもパイ生地を使った料理をいろいろ作る。学校の売店でもパイ、ポテトチップス、ガムやアメを売っている。あるとき「なぜパイを食べる」のかと聞くと、「知らない」と言われた。また、オープンを使う料理がとても多く、炭水化物の料理が少ない。



植松さん、斎藤さんが覚えてきたマウイ族の踊りを披露してくれた。

学生たちを送り出した父母からの感想では、「電話がなくて心配していたが、元気で、一回わり成長して帰ってきた。家ではしたことがないことまでやってきた、貴重な体験をしたようだ」など、短期間ながらわが子の確かな成長ぶりを感じ取ったようでした。

(Y. T)



外国人のパフォーマンスに市民も喝采

8月27日(土)、市民夏まつりが貝柄山公園で開催された。心配された台風11号の影響もなく晴天に恵まれ夏休み最後の土曜日、多数の市民が集い夏休みイベントは無事終了した。

昨年の新鎌ヶ谷駅北口広場とは異なり緑と池に恵まれた自然いっぱいの公園には多くの出店が並び、中央ステージでの催し、仕掛け花火と夜遅くまで大勢の市民で賑わった。

KIFAブースでは国際交流の意義を一般市民により身近に知ってもらおうと「国際交流in鎌ヶ谷」のテーマを掲げ韓国・ニュージーランド・ペルー・中国・カナダ・イタリアの6カ国の外国人と多くの一般市民が親しく交流する“外国人とお友達”を合言葉に狭いブースの周辺で約1時間ごとに、夕方まで市民参加イベントが賑やかに行われた。

国別イベントごとに受講者を集めて母国の話、器楽演奏、歌唱指導、クイズ、大道芸、語学講座と多彩なイベントが順次行われ、終了時の受講者の拍手と笑顔はKIFA活動に対する関心度を高める効果的なPRイベントで一日中賑わっていた。

KIFAブース横の木陰では出演外国人と市民のカタコト会話、交流の輪が自然に広がり国際交流活動を身近に感じた市民も多く、その場で入会申込書を持ち帰った市民も数名いたようだ。今年の夏祭りとは異なり市民参加型イベントは、限られた狭いKIFAブース(2.6m×3.9m)での、企画設営から手づくり運営まで関係者の苦勞が察せられた。(S.S)



アリシアさん(ニュージーランド)・・・ニュージーランド紹介。クイズに清水市長も参加



ボブさん(カナダ)・・・愉快な大道芸

KIFA 市民夏まつりに参加



イ・ヒョンジョンさん(韓国)・・・チマチヨゴリ姿で韓国の紹介



フリオさん(ペルー)・・・キーナ演奏とペルーの紹介



劉(リュウ)さん(中国)・・・中国語で唄おう



モンテさん(イタリア)・・・やさしいイタリア語

◎秋のひととき、国際交流の場を過ごしませんか◎

KIFAパーティ2005

日時: 2005年11月23日(水)12時~15時(開演11時30分)
 会場: 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター
 6階大会議室(市役所裏)
 参加費: [会員]一般・学生 1000円 小・中学生 500円
 [会員以外]一般・学生 1500円 小・中学生 1000円
 * 当日券は、各上記の500円増です。

☆立食パーティで外国人の方々および会員相互の交流☆舞台上の外国人による民族舞踊、民族音楽演奏☆ブースでの韓国、ニュージーランドなどの外国文化の紹介(予定)など。☆軽い食事と飲み物も用意してあります。

参加申し込み: 11月7日(月)までにKIFA事務局へ。
 あるいは部会員を通してチケットを購入してください。
 電話: 445-1141(内線550)

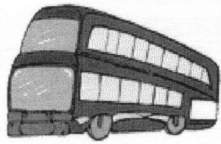
アンニョンハセヨ!

(日本に一番近い国)韓国文化に親しむ会

KIFAハングル講座の講師・李賢貞さんから「韓国の生活文化」について、興味深いお話を聞いてみませんか。そして、韓国の伝統的なお菓子を楽しみませんか。衣食住...日本と韓国文化の違いに驚きの新発見があるはずです!

日時: 11月5日(土) 午後2時~4時(開場1時30分)
 会場: 中央公民館4階 学習室1(新京成線初富駅そば)
 定員: 30人(申し込み先着順)
 参加費: 無料
 申し込み問い合わせ: KIFA事務局まで
 電話: 445-1141(内線550)

KIFA バスツアー



佐原、町並み散策・楽しい国際交流バスの旅



風情のある昔の町並みを残した佐原市内



町並みを散策



老舗の酒造店で
利き酒と面白い物

9月25日台風17号の接近で朝から大雨だったが、集合時間までにはほぼ全員がそろい予定時間通りバスは出発した。今回はバス1台で総員43名、うち、台湾、韓国、ペルー、バングラディッシュ、タイなどの外国人16人だった。

途中車内で自己紹介があり中にはいろいろな国の言葉で挨拶をする人もいた。出発してから2時間ほどして最初の目的地佐原に到着した。しかし雨風はますます激しく次の目的地銚子、犬吠埼は危険な状況にあるとの情報が入り断念して、佐原見学に変更した。最初は山車会館に入り映像での説明の後、館内の3台の大きな山車を見学、みんな大きさに圧倒された。その後バスで予定外だったが、老舗の酒造会社を見学させてもらった。ここでは超高級酒を試飲したり漬物を買ったりした。車内で昼食後、雨が小降りになったので各自小野川沿いの古い町並みを見たり、伊能忠敬記念館などを見て帰途についた。



山車会館内

帰りの車内ではビンゴゲームで大半の人が商品をゲット、最悪天候のなか、スタッフの努力により楽しくおわれた。

(T. T)

バス旅行に家族で参加されたタイ出身の斉藤カルナさんの感想：



山車会館内

小野川岸に並んでいる柳の枝が台風の強風で揺れていた。昔の商家の逞しい姿が私の目の前に立ち並んでいる。



伊能忠敬旧宅

伊能忠敬と言う人物は私にとって始めて聞きました。日本で始めて実測による全国地図を作った人だと読むと、とても感動しました。彼の旧宅の中に入った瞬間、その時代の匂いを感じました。

佐原市の昔町並みは雨を通して見せる姿でも美しく、とても魅力的な町だと思います。また家族でもう1回行くつもりでいる私です。

編集後記

気がつけば秋なかば、すでに「パックン・マックンのトークショー」「佐原、町並みバスツアー」など、実行委員、会員ボランティアの皆様の積極的な努力で、多くの催事が成功裏に終了し、KIFA活動もいよいよ後半になります。これから「外国文化に親しむ会」「2005 KIFAパーティ」など各実行委員の活躍も続きます。

一人でも多くの会員の皆様の積極的な参加、協力をいただき国際交流の輪をさらに広げてゆきたいと思っています。

(S. S)

10月15日から開講
子ども英会話「スマイリーキッズ」

今年も10月15日から、KIFA子ども英会話「スマイリーキッズ」が、スタートします。たくさんのご応募ありがとうございました。受講者は小学校1・2年生のクラス12人、3・4・5年生のクラス12人です。

中央公民館で12月10日まで全7回、増田千佳先生の指導で、歌、体操、ゲームをしながら楽しく「すぐ使える英会話」を学びます。

「抽選で外れてしまった友だち、ごめんなさいね。11月のKIFAパーティでは、昨年同様、キッズのプログラムも用意しています。ぜひ遊びにきてください」(担当ボランティア)